

総義歯製作 ～模型の観察と分析の重要性～

水野 邦浩

日常臨床において歯科技工士が預かる模型には、印象採得を行った歯科医師の総義歯製作に対する概念や術式、または手技・手法により様々な表面性状や形態が再現されている。発表では、口腔内で起きていると思われる歯槽骨の吸収や顎堤粘膜の状態を、概形印象・作業模型から観察・分析し、その情報を口腔内に装着される技工物に反映させるには、どのようなアプローチが必要になるかを堤式規格模型の紹介と共に解説をすすめる。

石膏と印象材について

歯科衛生士 津久浦 圭珠

今、歯科医療は大きな変換の時を迎えようとしている、その一つに 70 年以上続いている連合印象採得、石膏模型が挙げられる。歯科技工・歯科補綴に関わる設備やマテリアルもまた、かつてないスピードで変化の時を迎えているが、印象採得や石膏操作は歯科医療従事者にとって永遠に根本規範であると考え。今回は、石膏系材料について商品を例にお話をさせていただきます。